

# 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	学童クラブ運営事業		コード	4110	
2 担当部課	部等	教育部	課等	教育総務課	
	作成者	山田 勝由紀			
3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち		
		政策	学校教育の推進	施策	学校教育の推進
		予算科目	学童クラブ運営事業費、報酬給与費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		設置条例	岡谷市学童クラブ条例		

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	市内各小学校に12学童クラブを設置	
目的	対象者	保護者が昼間就労等により、家庭にいない小学校1年生～6年生の児童等
	意図	適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図る。

5 施設の管理運営状況		元年度指定管理料	円
指定管理者			
施設における通常業務	保護者の就労支援 入所中の児童の基本的な生活指導、安全の確保 家庭や学校との連絡の確保		
事業の実施内容	（元年度に施設で行った運営事業・自主事業など） ○児童福祉法（昭和22年法律第164号）第34条の8の規定に基づき、岡谷市学童クラブの設置及び管理運営を行う。 ○開設日 学校登校日12学童開設（年間平均197日） 学校休業日12学童開設（年間平均38日） 土曜日1学童開設（年間平均50日） ○開設時間 学校登校日 下校～午後6時45分 学校休業日・土曜日 午前7時45分～午後6時45分 ○川岸小学学童クラブ拡張工事を実施し、利用者増への対策を講じた。		
前年度の課題への対応	電話催告や自宅訪問により、滞納整理に努めた。		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	2,956	2,953	2,897	
1日の開設時間（時間）	-			
年間利用可能時間（時間）	18,480	18,430	18,430	0
年間利用実績（時間）	18,480	18,430	18,430	
② 年間利用者数（人）	71,964	69,060	63,185	0
有料利用者数	50,325	54,844	46,640	
無料利用者数	8,420	6,674	5,497	
減免措置者数	13,219	7,542	11,048	
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	24.3	23.4	21.8	-
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	51,552,214	57,663,270	59,892,193	58,715,000
経常経費	51,552,214	52,010,766	53,397,993	58,715,000
臨時的経費		5,652,504	6,494,200	
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	8,800,000	8,800,000	7,200,000	7,200,000
正規職員の人数(人)	1.10	1.10	0.90	0.90
③ 合計コスト(①+②)	60,352,214	66,463,270	67,092,193	65,915,000
前年度比		110.1%	100.9%	98.2%
財源内訳				
一般財源	38,388,314	40,849,670	38,868,493	65,915,000
特定財源	21,963,900	25,613,600	28,223,700	
* 特定財源の説明	学童クラブ使用料、督促手数料、子ども・子育て支援交付金			
④ 施設使用料年間収入額	18,097,525	18,095,750	16,603,700	
⑤ 年間減免措置額	1,147,225	1,132,050	774,500	
⑥ 受益者負担割合	37.3%	33.3%	29.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	839	881	959	
前年度比		105.0%	108.9%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況（項目6/住民の満足度）は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 93.3%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 91.8%		0

## ●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 使用料収入の滞納ゼロを維持する
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 滞納金額が大きくなる前に電話催告、お迎え時の面談、自宅訪問により確実に回収する。
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
13 大規模修繕の予定			
予定事業費		円	予定時期
内容	川岸小学童クラブ拡張工事		